

内科 小児科 漢方
産科 婦人科
浮田医院
だより



第 48 号

発行所：内科 小児科 漢方 浮田医院

〒520-1214 滋賀県高島郡安曇川町末広3丁目28

TEL 0740-32-3751

FAX 0740-32-3795

(パソコン) <http://www.2u.biglobe.ne.jp/~ukita/>(携帯) <http://www.ukita.gr.jp/i/>

e-mail: kanpou@mui.biglobe.ne.jp

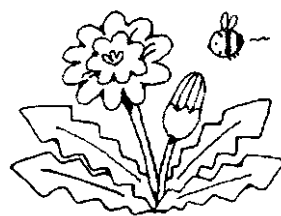
発行日：2004年4月5日(月)

発行者：浮 田 徹 也



漢方薬のよさ(48)

下痢 I



桜の花が咲き誇っています。私の育てている山桜は三月十八日に満開になり、一足早い春をいただきました。これから、菜の花、チューリップ、藤、つつじ、バラ・・・などが私たちの心を和ませてくれます。住んでいた頃にはそれほど興味がありませんでしたが、

散策、観賞したいところは、滋賀院門跡のしだれ桜、哲学の道の桜のトンネル、大原の里や新旭町の菜の花じゅうたん、宇治平等院の長い花房を垂らす藤の古木、詩仙堂のサツキなどですが、「さあ、どの花と会えるかな？」と楽しみを膨らませていきます。

先日、京都市の随心院を訪れ、「はねすの梅」の上品な最高の風情に心を癒されました。遣隋使や遣唐使によって伝えられた白梅、空海の頃に伝えられた紅梅、江戸時代に育成された八重の梅に出

会えました。少し遅咲きですが、その見事な姿は、人々の心を魅了していました。

下痢についてお話しします。
感染性下痢の原因は、加熱が不十分な肉・魚・卵などのことが多く、便の培養で原因の菌を診断します。



菜の花：風車村（4月11日 菜の花祭り）

非感染性下痢は、過食、過飲、食物アレルギー（牛乳、卵、肉、魚、えび・・・）、薬剤性アレルギー（抗菌剤、抗癌剤、ジギタリス・・・）、過敏性大腸症候群（ストレス、緊張）、潰瘍性大腸炎、虚血性大腸炎（高齢者の高血圧、動脈硬化、糖尿病）、その他（甲状腺機能亢進症、心不全、胃切除後、大腸癌・・・）、が原因になります。

東洋医学では、脾胃（胃腸、消化機能）と肝（自律神経の調整）の異常とを考えています。

では、実例を挙げましょう。

三三歳男性、慢性下痢（持続性反復性の下痢、血便、腹痛、発熱、貧血）、七年前に潰瘍性大腸炎と診断され、サラゾピリンやステロイド治療、白血球除去療法を受けてきた。初診は三年前。顔はやや薄黒く、むくみを感じられた。腹は肥満傾向で、軟らかく、心下部及び両側季肋部と臍傍に抵抗・圧痛。脈は浮いて、細く速い。舌は紅色薄い黄苔、裏に怒張した血管。そこで、千金内托散、排膿散及湯を処方。

三ヶ月後、発熱と腹痛が減り始め、六ヶ月後、下痢と粘血便も減少。





二年後、ステロイドが中止になり、現在、漢方薬とサラゾピリンを併用中。時々、下痢、腹痛を自覚するが日常生活に支障はない。

三八歳女性、**眼精疲労（眼痛）**、緑内障、頭痛、起床時の抑うつ感、全身倦怠感、便秘。顔色は青黒く、眼瞼と下肢がはれている。腹は柔らかく、心下部でジャブジャブと音がする。臍の上横下で動悸を触れる。脈は軟らかく、力に欠け、遅舌は淡紅色、薄い白苔。そこで、補中益気湯、紅参、大黃を処方。二週間後、倦怠感は減ったが、眼精疲労も頭痛も不変。そこで、釣藤散、釣藤鉤末、大黃に変更。二カ月後、眼精疲労と頭痛が減少。一年後、ほぼ改善したが、調子がいと継続中。

三五歳女性、**三叉神経痛**、三ヶ月前、**带状疱疹ヘルペス**に罹った。頭と頬のチクチク、ピリピリする感覚を訴えた。顔色は良好で、両頬色に赤みがあった。腹の弾力性は中程度、心下部に軽い抵抗、臍上悸。脈は速く、緊。舌は淡紅色、薄白苔、周囲に歯痕。そこで、五苓散、附子を処方。一四日後、チクチク感がやや減少。二ヶ月後、

ほぼ消失。しかし、一ヶ月後再発。そこで、漢方薬を再び始め、一年間続けて治癒した。

二六歳女性、**乳腺炎**、発熱（三九℃）、肩こり（食欲不変）。顔は紅潮、両側乳房は堅く腫れ、触れると熱感が強い。お腹は柔らかく、両側腹直筋が少し緊張、下腹部は特に軟弱。脈は浮いて緊張して速く、舌は鮮紅色、薄い黄苔、舌下の静脈は怒張。そこで、葛根湯、桔梗石膏を処方。同時に乳房マッサージを実施し、乳房の自己管理方法を再度指導した。翌日は、平熱になり、授乳もできるようになった。

ホームページを更新して、三ヶ月が過ぎました。診察と病気（病状）の問合せ、医療機関紹介の依頼、資料（せいらぎ、パンフレット）の請求など、これからも、パソコンや携帯を利用して当院にアクセスして下さい。

次回は、**漢方の歴史I**についてです。



〔院長〕



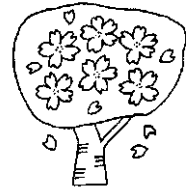
眼 精 疲 労

眼の疲労が激しく、視力低下、複視、眼痛、頭痛、肩こり、悪心、嘔吐などの症状が出ます。緑内障、副鼻腔炎、更年期障害などを見逃さないことが大切です。気血水を調え、五臓を調整する漢方薬が有効なことが多いようです。



三 叉 神 経 痛

突発する激しい顔面の一側性の痛みで、疼痛発作が反復し出現します。この痛みは、会話、食事、洗顔、化粧などにより誘発されます。原因は、微小血管や腫瘍による三叉神経の圧迫です。



乳 腺 炎

お乳が赤くはれ、痛み、発熱します。乳房マッサージか乳房の安静、漢方薬や抗生物質を処方します。予防は、乳房の自己管理で、乳房と乳首の手入りを怠らず、乳汁のうっ滞や肩こりを感じるときには、当院の漢方薬を服用することをお勧めします。



当院の漢方治療



剤型

- ・エキス漢方薬：錠剤タイプの漢方薬と顆粒タイプの漢方薬があります。
- ・漢方煎じ薬：良質の生薬を組み合わせた漢方薬。40～60分煮て作ります。

当院の顆粒タイプの漢方薬は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかりと蓋をして下さい。それでも固まる場合、冷蔵庫で保管して下さい。漢方薬が固まりやすい場合、当院の漢方薬専用容器(無料)をご利用下さい。

適応症

便秘、頭痛、肩こり、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、発熱、かゆみ、排尿障害・・・などすべての症状。

・漢方薬のよく効く疾患

アトピー性皮膚炎、更年期障害、便秘、腰痛、肩こり、子宮内膜症、子宮筋腫、生理痛、冷え性、不妊症、低血圧、めまい、頭痛、下痢、動悸、過敏性大腸、慢性疲労、風邪、肥満、夏ばて、慢性肝炎、肝硬変、慢性胃炎、慢性膝炎、慢性胆嚢炎、胆石、胃十二指腸潰瘍、痛風、慢性膀胱炎、血尿、前立腺肥大、尋麻疹、接触性皮膚炎、にきび、慢性中耳炎、慢性扁桃腺炎、慢性副鼻腔炎、口内炎、口腔乾燥、虚弱児、切迫流産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不全、乳腺症、上下肢浮腫、膝関節症、神経痛、帯状疱疹後神経痛、下肢静脈瘤、クーラー病・・・

・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患

高血圧、高脂血症、高コレステロール血症、アレルギー性鼻炎、不眠症、自律神経失調症、うつ病、骨粗鬆症、糖尿病、慢性関節リウマチ、痔、肝硬変、喘息、腎炎、甲状腺疾患、夜尿症、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗がん剤使用後倦怠感、抗がん剤使用時副作用・・・

エキス漢方薬と漢方煎じ薬

- ・軽症 ・ 中程度の病気：漢方製剤（顆粒あるいは錠剤）を組み合わせで治療。
- ・重症の病気、エキス剤が無効：漢方煎じ薬で治療。

女性の方、男性の方、お子様、高齢の方、ご相談下さい。

問診、望診(舌診)、聞診、切診(腹診と脈診)の東洋医学的診察法(四診)や検査(超音波、血液、便、尿、膣分泌物、心電図、骨量測定・・・)などを利用して、漢方薬を決めます。

骨量測定 (4～6ヶ月ごと)

1分で測定(極少量のX線吸収を利用)。結果は、直ぐにお渡しします。骨破壊度の検査(尿)も実施しています。

処置診

処置、検査、点滴、鍼、スーパーライザーをご希望の方、診察券を入れ受診者名簿に、氏名を書き処置の欄にチェックして下さい。

皮内針、針管付き鍼

内皮針は1～2mm、針管付き鍼は30mm、いずれの鍼も刺す時の痛みはありません。肩こり、腰痛、膝関節痛、神経痛、筋肉痛、頭痛・・・の治療に適しています。

スーパーライザー (神経照射)

赤い温かい光(近赤外線)で血行をよくし、腰痛、アトピー性皮膚炎、花粉症、ストレス、肩こり、五十肩、膝の痛み、ムチウチ、捻挫・・・などの治療に利用しています。

アトピー軟膏 健康食品

漢方薬(生薬)のみで作られた軟膏です。

- ・紫雲膏 ・ 太乙膏 ・ アガリスク ・ メシマコブ
- ・ 靈芝 ・ AHCC ・ サメ軟膏

問診、腹診、舌診、脈診

お話を聞き、お腹や舌や脈を診察して、“体や心の状態”をチェックします。ストレス、血液の流れ、エネルギーの量、体力などを判断します。

在宅訪問診療とは

患者さんあるいはその家族の人と相談のうえ、その家族を訪問し、計画的に診療と治療を行います。往診と違い、定期的に(月に2～72回)訪問診療を行い、患者さんの健康を管理します。
在宅診療についてお気軽にご相談下さい。

健康保険証の確認

保険証は毎月確認することになっています。保険が使えなくなると困りますから、保険証の変更は、早急に受付に連絡して下さい。

寝たきり老人在宅総合診療とは

病院及びその他あらゆる老人用施設に入所できず、家庭で家族が介護している人の家に行き、居宅療養のお手伝いをする制度です。
費用は1割の負担になります。
介護保険に制約されません。

外 来 診 療 時 間

	月	火	水	木	金	土	日
午前9:00～正午 (月～土)	○	妊婦外来	○	○	妊婦外来	○	—
午後5:30～午後7:30 (月、水、金)	○	—	○	—	○	—	—

- ◆漢方外来(月～土)：内科、小児科、皮膚科、産婦人科、整形外科、耳鼻科、眼科・・・など全科
 ◆更年期外来(月・夕方)：更年期の方、思春期の方(女性、男性、どなたでもお越し下さい)
 ◆不妊外来(水・夕方)：赤ちゃんの欲しい方(ご夫婦でもお越しになれます)
 ◆妊婦外来(火、金)：妊婦健診、妊娠中の方(火)午前11:00～正午は赤ちゃん健診、産後健診
 ◆助産師相談(第2、3金)：妊婦相談、乳房相談、育児相談 午前8:40～午後12:30(日程は掲示)

前期と中期-母親教室

日時：4月14日、5月7日、6月4日(金)
 7月14日、8月6日、9月3日(金)
 対象：妊娠7ヶ月までの方(定員5名)(無料)
 場所：当院1階 申込方法：申込ノートでご予約して下さい。

後期-母親教室

日時：4月7日、21日、5月12日、26日
 6月9日、23日、7月7日、21日(休)
 対象：妊娠8～10ヶ月の方(定員5名)(無料)
 お気軽にご参加下さい。ご主人の参加も歓迎します。

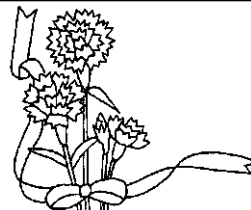
母親教室ティータイム

“イチゴのもこもこダクワーズ風ケーキ”(Dacquoise aux fraises)
 ダクワーズ生地にカスタードクリームをのせて、つやつや真っ赤なイチゴで飾りました。
 “ケーキ アマンド”(Kake Amandes)、アーモンドの入った軽い食感のケーキです。ラッピングしてプレゼントします。
 素敵な春の陽気のなかで、ゆっくりとした時をお楽しみください。



円 皮 針

痛み、だるさ、麻痺、凝りなどの病気によく効きます。特に、激しい痛みの疾患に対して効果があります。針の長さは1～2mmで、針尖は皮下に止まり、持続的な刺激を体に与えます。当院では、絆創膏付皮針を使用、およそ3～5日間後に交換しています。同時に漢方薬を処方し、体の内外から治療を実施しています。



分娩予約

妊娠34週までに受付で予約して下さい。
 ご予約には分娩予約カードと予約金5万円が必要です。
 予約された方に、母と子のてびきをお渡しします。

助産師相談

妊娠中、分娩、母乳、育児の相談と健診の説明。
 お一人およそ15～20分に対応します(無料)。
 日時：第2、3金曜日 午前8:40～午後12:30

携帯ホームページ (<http://www.ukita.gr.jp/i/>)

助けて ウッキー! DRウッキーの悩み相談
 婦人科 産科 漢方科 友達に教える
 外来診療のご案内などを掲載 (i-m-o-d-e 対応)

赤ちゃん健診

1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月健診をしています。
 日時：毎週火曜日 午前11:00～正午(有料)

パソコンホームページのリニューアル
(<http://www2u.biglobe.ne.jp/~ukita/>)

漢方のページ(当院の漢方治療、症例)
 産婦人科のページ(入院、食事、各種教室、指導)
 老人医療のページ(在宅訪問診療、予防接種)
 当院の施設案内、当院への交通(車、JR)
 周辺の観光地など掲載(滋賀県)。

入院食(手作り)

心のこもった手作り料理です。素材、味付け、メニュー・・・など、絶えず工夫し研究しています。

従業員募集

看護師、助産師(常勤、パート)。面接：随時、各種保険加入、賞与：年2回、交通費支給。